



みなさんこんにちは。今月号の担当は布施です。4月から勤めて早一年経とうとしています。みなさんから沢山の事を教えていただきとても充実した一年だったと振り返ります。来年度も引き続きよろしくお願いいたします。

さて、今回は町民の方からもご相談があった「けんしんって何歳から?何歳まで?」という悩み解決のお手伝いができればと思います。



有効性評価に基づくがん検診ガイドラインより引用・改変

	推奨年齢	町の検診	受診間隔
胃	40歳～	40歳～	毎年
大腸	40歳～	40歳～	毎年
肺	40歳～	40歳～	毎年
子宮頸部	20歳～	20歳～	2年に1回
乳房	40～74歳	30歳～	2年に1回
健康診査	40歳～	20歳～	毎年



	1人あたり単価	中頓別町の検診料金
胃	約6,000円	500円 (75歳以上400円)
大腸	約2,000円	500円 (75歳以上200円)
肺	約2,000円	500円 (65歳以上100円)
子宮頸部	約7,000円	500円
乳房	約6,000円	500円
健康診査	約10,000円	1,000円 ※国保の方

町民はワンコインで受けられます!



中頓別町の死亡の状況

- 1位 心疾患
- 2位 悪性新生物
- 3位 不慮の事故
- 4位 老衰
- 5位 糖尿病

1位 肺がん 2位 胃がん 3位 大腸がん



発症予防もちろん大切ですが
どの段階でも予防は可能です。
いまの治療や通院を継続することで
再発を予防することがとても重要です◎

各種検診の推奨年齢や受診間隔は科学的な検証がされています。しかし、どの年齢であってもがん発症の可能性がゼロではなく、推奨年齢を境に罹患率が上昇していきます。そのため、町では独自に検診の対象年齢を設定することで早期発見・早期治療に努めています(左表)。また、町の検診では、年齢に上限を定めていません。毎年受けている方にとっては、高齢になっても身体に無理がない程度に受け続けることが日々の生活の安心感につながるといってもいいかもしれません。年齢や受

診間隔を参考に検診の計画を立ててみませんか?
症状がある場合は、受診間隔を待たず速やかに医療機関を受診することで早期治療につながります。日本では悪性新生物(がん)が死因の1位となっており、一生のうちになんと診断される確率は「2人に1人」とも言われています。がんは、早期発見できれば、治せる可能性が非常に高く、治療も軽くすむことが多いです。そのため、定期的に検診を受けることをおすすめしています。

中頓別町は、がんの中でも肺・胃・大腸がんが上位を占めています。また、メタボや糖尿病等の生活習慣病が、大腸・乳がんなどの一部のがんや、心疾患・脳血管疾患のリスク要因になることがわかっていきます。がん検診と合わせて特定健診を受けることでリスクを減らすことができます。町では、特定健診とがん検診(胃・肺・大腸)を同日に受けられる機会が年に数回ありますのでぜひ活用ください。